

三木市卓球協会

〔設立年度〕昭和29年7月1日

〔事務局〕三木市大塚1-5-24 岩崎方

〔加盟会員数〕(市内愛好者数) 約500名

〔現役員〕会 長 中嶋 将雄

副 会 長 塩谷 英雄

事 務 局 岩崎 誠

顧 問 山本 晃一

理 事 木下 安男

岡田 茂美

吉永 紀子

佐々木良憲

関本 旬太

澤田 勝

宮本 敦子

氏田 俊子

多田 徹

平井 健一

上田 和弘

平上 文洋

武庫富美子

佐野 宜規

竹下 幸宏

山本 卓弥

小阪 啓子

●現在の活動状況（この10年間）

昭和29年6月1日三木市制施行の1ヶ月後に結成された体育協会に併せて誕生した三木市卓球協会は市制、体育協会と同じ年月を歩み、平成16年に50周年、そして平成26年で60年周年と歴史を刻み続けており感慨です。

歴史を振り返ると、協会発足時の小さな大会運営から昭和43年役員の充実。昭和52年、三木卓球クラブ発足。昭和55年から年4回の大会開催。平成元年の三木卓球クラブジュニアの活動開始から小学生部門（バンビ、カブ、ホープス）の県大会、全国大会出場という成果を得た。

昭和29年から東播地域で行う「東播七市親善卓球大会」では、阪神淡路大震災があった平成7年から9年に掛け、三木市代表は3年連続優勝。

平成9年からは、みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を開催運営。平成10年頃から役員手作りによるジュニア選手強化練習会。

平成10年4月からは「みっきいリーグ」開始。そして、平成12年4月10日「三木市卓球協会ホー

ムページ」を兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設。

以上、50年の歩みを踏まえ、その後の10年間の活動においては、「三木市卓球協会ホームページ」を通じ、当協会の年間各大会・リーグ戦の案内、大会結果のお知らせを掲載し、卓球愛好者と絶えず情報の共有を行いました。



【三木市卓球協会ホームページ】

都市部に出なくても三木で試合が出来る「みっきいリーグ」は17年目を迎え、延べ参加人数は、

平成26年10月末で15,335人を突破し、年間参加平均も1,100人と定着し、卓球愛好者の底辺拡大に貢献できた事と共に、小学生時にリーグ戦に参加した子供達が中学、高校等の全国級大会などで入賞することは大きな喜びとなりました。

夏休みの「ジュニア選手強化練習会」も平成14年から平成26年の13年間継続で開催しており、毎年約70人前後の中学生選手の強化を図ってきました。

平成9年から始めた「みっきいレディースオープン卓球大会」、「みっきいオープン卓球大会」は、それぞれこの10年の累計2400人、総累計4500人、累計3500人、総累計8600人と多数の参加者と共にレベルの高い大会との評価を維持してきました。

各世代の選手で団体戦を戦う、東播七市親善卓球大会においては、平成18年～24年の間で、一般の部で準優勝6回、ベテランの部で優勝2回、準優勝3回と親善大会ではあるが安定した戦績を残してきました。

特に近年の大きな成績といえば、1つに平成24年度全日本卓球選手権大会マスターズの部において、当協会理事の2名が全日本ランキングに入りました。岡田茂美選手は「女子ローシックスティ」

でベスト8、宮本敦子選手が「女子ハイセブンティ」でベスト8。この成績により、広報みき平成25年1月号に二人の抱負が掲載されました。

2つ目は、平成26年1月の平成25年度全日本卓球選手権大会において、多田涼夏選手（吉川中出身）が「ジュニア女子」で優勝者の加藤美優選手に健闘し敗戦しましたが、ベスト32（4回戦進出）入りを果たしました。



【全日本卓球選手権大会の多田選手】

多田涼夏選手の成果の前には、全国クラスに通じる成績を残す先人的な活躍をした若手選手がいます。

平成21年度の全日本卓球選手権大会「カデットの部」兵庫県予選において、明空美希選手（吉川中出身）が、「女子中学生2年以下の部」に6位



【平成22年ジュニア強化練習会の2選手】



【広報みき平成25年1月号での2選手】

に入賞し、同年11月に広島で開催された全日本選手権に出場しました。

また、平成22年度兵庫県高校総体の卓球競技で、吉岡理恵選手（三木中出身）が「女子個人」で3位に入賞し、平成20年の埼玉に続き、沖縄インターハイに出場したことを忘れません。



【新聞で活躍を期待される吉岡選手】

また、協会活動とは距離を置きますがトピックスとして、平成24年11月に当協会の岩崎誠事務局長が人命救助により、兵庫県の善行表彰「のじぎく賞」を受賞しました。普段の事務局という状況把握力と、卓球競技における俊敏な判断力の賜物と思うとともに共に、勇気ある行動に敬意を表します。

■池転落の男性救助 三木の岩崎さん表彰

車ごと池に転落した男性（86）を助け出したとして、兵庫県警三木署は1日、三木市市民病院地域医療連携室の岩崎誠副室長（57）＝同市大塚1＝に県の善行表彰「のじぎく賞」を伝達した。
同署などによると、10月20日正午ごろ、同市大塚1のため池に乗用車が転落した。後ろを車で行っていた岩崎さんが気付き、119番した。
車は当初、浮いていたが、救助隊員を待つ間に沈みだした。慌てた岩崎さんは、10メートルほど泳いで車に近づき、後部座席の窓から男性を助け出し、肩を引っ張って岸まで泳いだという。男性は少し水を飲んでいたが、無事だった。
岩崎さんは「わずか5分程度の出来事だったが、長く感じた。助かって良かった」と話した。（中川 恵）

賞状を受け取る岩崎誠さん＝三木署



●将来への展望

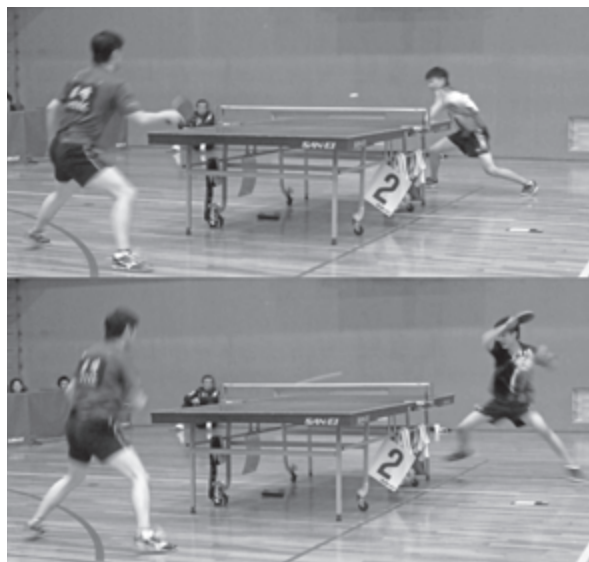
60周年を迎えての卓球協会の活動は、開催大会の整理を行いつつ、小中学生への指導による育成、定着してきた「みっきいリーグ」の継続による生涯スポーツとして明るく楽しみたいという愛好者に対して「いつでも卓球にふれあえる」機会提供に努めてきました。

これからも、卓球愛好者だけにとどまらず、より多くの人たちが卓球とふれあえる機会をもっと増やす活動を継続していきたいと考えています。

さらに充実期に新しく取り組んできた事を改良し、若い指導者の育成にも取り組み、色々なことにチャレンジし、これからもより沢山人達が卓球を楽しめるよう、卓球の街「三木」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

●●● 熱戦！ラリー ●●●

平成26年11月23日に開催された、第18回みっきいオープン卓球大会の男子準決勝の力強いラリーです。



【みっきいオープン卓球大会の様様（H26.11）】